

取扱いの趣旨

マイコプラズマ抗体は、マイコプラズマ感染の診断補助に用いられる検査であることから、マイコプラズマ感染症のない肺炎等の傷病名に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年12月27日》

397 マイコプラズマ抗体（肺炎、気管支炎等）の算定について

○ 取扱い

マイコプラズマ感染症（疑い含む。）のない次の傷病名に対するD012「4」マイコプラズマ抗体定性又はマイコプラズマ抗体半定量の算定は、原則として認められない。

- (1)肺炎（成人）
- (2)気管支炎
- (3)慢性呼吸不全
- (4)肺結核
- (5)肺気腫
- (6)気管支喘息

○ 取扱いを作成した根拠等

マイコプラズマ感染症は、*Mycoplasma pneumoniae*によって引き起こされる小児や若年成人の上気道炎、気管支炎、肺炎の原因として比較的多く見られる。

また、マイコプラズマ抗体定性及びマイコプラズマ抗体半定量は、マイコプラズマ感染の診断補助に用いられる検査である。

したがって、これらの検査を算定するに当たっては、マイコプラズマ感染の診断目的で実施されたことが明確である必要がある。

以上のことから、マイコプラズマ感染症（疑い含む。）のない上記の(1)から(6)の傷病名に対する当該検査の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

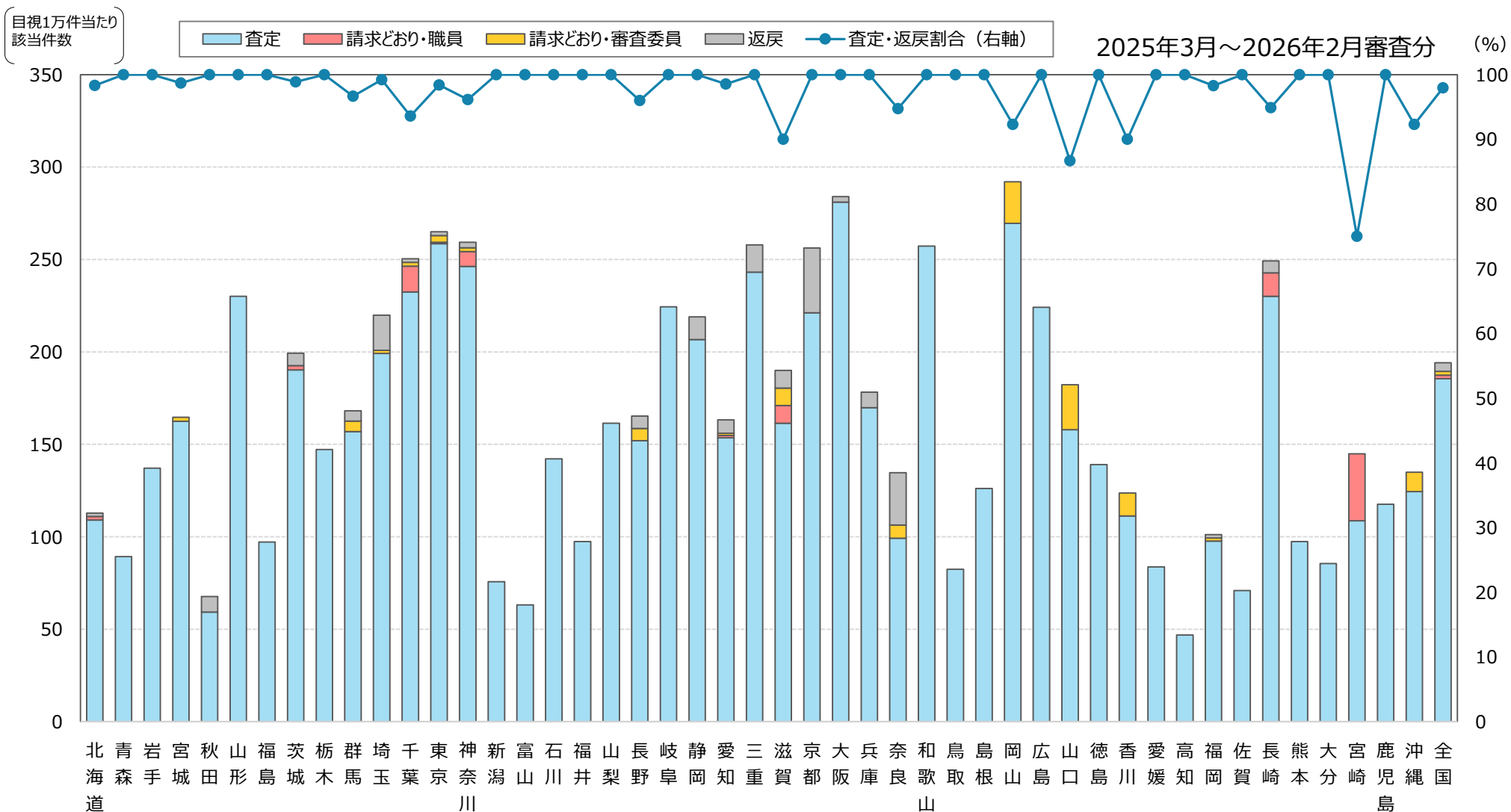
審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 97.93%

➤ 検証対象都道府県 1

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	宮崎	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮崎	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数（全国）	【条件】	2,514件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,462件
検証を必要とする審査	請求どおり	52件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数